

未来づくりと環境

世界では出口の見えない国際紛争やこれに起因するエネルギーの高騰などにより、地球温暖化対策として始まった脱炭素化の動きが一層加速されています。こうした現況において、テクノロジーの平和利用はもとより、人間に寄り添い地球環境に配慮するなど、工学の専門家には、人間としても社会・世界から信頼される資質が求められています。

名古屋工業大学は、工学を常に客観的に見つめる「心で工学」を合言葉に、工学の責任を自覚した“ものづくり”、“ひとづくり”を一層推進し、平和で明るい“未来づくり”に貢献してまいります。

本学は、環境に配慮した事業所として名古屋市よりエコ事業所の認定を、2008年以降現在まで継続して受けています。これをベースラインとするとともに、現在整備を進めているアートフルキャンパス※をプラットフォームとして、リベラルアーツ教育にも重点を置き、感性と論理性の両輪を磨き上げる“ひとづくり”の環境整備にも力を入れてまいります。

そのためには、本学の構成員一人一人が地球環境に対する配慮を意識し、産業界や地域社会とともに継続的に環境問題に取り組んでいくことが極めて重要です。同時に、キャンパスを取り巻く環境の現状を正しく認識し、現状の問題点や課題を適切に把握・分析して改善に繋ぐため、ここに本年度の環境報告書を取りまとめ、現時点におけるキャンパスの状況を客観的に見つめてみました。

2023年9月

国立大学法人名古屋工業大学長

環境最高責任者

木下隆利



※アートフルキャンパス構想とは

ARTFUL CAMPUS

名古屋工業大学御器所キャンパスは産業基盤創出・産業人育成のプラットフォームとしての役割を果たしています。

愛知県立芸術大学の協力のもと、高度な工学の基盤であるキャンパスへアートによる風を取り入れます。

芸術に親しむことによって、“心の豊かさ”を育み、自己の客観視、社会との対話、工学を俯瞰するための時間とキャンパス空間を構築します。

<https://artfulcampus.com/>